

解答

一

- ① ひんい ② かしん ③ きわ〔める〕 ④ しゃっけい ⑤ 愛着 ⑥ 照準 ⑦ 胃
⑧ 鋼

二

- 1 ① 一期一会 ② 二人三脚 ③ 三位一体 ④ 四方八方
2 ① キ ② カ ③ ク ④ エ

三

- 問一 利菜の父親は、中学生からすると想像もつかないほどの大金を得たから。
問二 ウチもまた倒産する可能性があったから
問三 五十六億円という大金を得た父親を持つ利菜と、父の会社が倒産し、私立中学の退学を余儀なくされているヒロミとを比べている。

問四

ウ
温情（で貸すもの）

問五

イ
⑥ ア ⑧ オ

問七

四

- 問一 子どものころの私はとても内気で引つ込み思案、人見知りもし（ていたということ）
問二 おれはそんなに存在感がなかったのか
問三 世間話をしながら、親しくなれ
問四 異変
問五 ⑤ ウ ⑦ ア ⑨ イ
問六 私の甘い考えは見事に見透かされていた（から）
問七 信頼関係を築くこと
問八 くれていました。

解説

三

- 問五 利菜が、ヒロミの家にお金を貸してやってよと父親に頼んだ場面に着目します。父親は「たとえ利菜の友だちでも、温情でお金を出すわけにはいかないよ。そんなことをしたら、その人はもっと不幸になる。そういうもんなんだ」と話していることから、「温情」がぬき出せます。
問六 部⑦の前に着目します。もの凄い形相で睨み付け「結局、パパだって、ナカシマ工業と同じじゃない」と言う利菜に対し、「違うぞ、利菜」と佃はこたえ言い争い、これ以上話しても進展はなさそうだったと思う様子から、「忙しい父への理解」という記述を含む、選択肢イがあてはまらないことがわかります。

四

- 問三 部③の後に着目すると、研修で「世間話をしながら、親しくなれ。」と教わっていたことがわかります。記者が調書を勝手に見たのだという状況を作ってくれたことや、刑事たちが家宅捜索に入る瞬間の映像や、裁判所発行の家宅捜索令状を読み上げる様子を映像に収めることができたという例をあげ、「要は信頼関係を築くことなのですね。」とまとめているので、この部分から適切な九字をぬき出します。